



剣の宝庫 草薙館（つるぎのほうこ くさなぎかん）

熱田神宮では皇室をはじめ、市井の篤志家に至る幅広い層から寄進された「まごころの証し」とも言える貴重な文化財約 6,000 点を御宝物として収蔵しています。また、御神体として三種神器の一つである「草薙神剣」を奉斎する由縁から、特に刀剣の所蔵は 450 余口に及び、その内 20 口が国宝・重要文化財の指定を受け、「名刀の宝庫」とも称されています。

当神宮では令和の御大典を奉祝し、数々の境内整備を行って参りました。その奉祝事業の集大成として竣工されたのが、令和 3 年 10 月に開館の刀剣展示に特化した「剣の宝庫 草薙館」です。

展示室内では戦国大名朝倉義景麾下の猛将、真柄十郎左衛門親子が振りかざしたと伝えられる「真柄大太刀」を常設展示する他、刀身の表裏を見ることの出来る特殊な展示ケースでは 10 口を毎月入れ替えて展示、さらに実際の真剣や上記「真柄大太刀」を模した複製で、その長さや重さを実感できる体験コーナーも併設されています。

目次

- 愛知県博物館協会 令和 4 年（2022）度総会のご報告 …………… 2
 - 令和 4 年度東海地区博物館連絡協議会・日本博物館協会東海支部理事会及び総会のご報告 …… 11
 - 表紙館のご紹介 …………… 12
-

愛知県博物館協会 令和4(2022)年度総会のご報告

愛知県博物館協会の令和4年度総会が6月30日、愛知県陶磁美術館において、参加館46館54名が出席するなかで開催された。当日の総会概要は以下のとおりである。

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 協会表彰

小林 弘昌 様 (功労賞)	あま市七宝焼アートヴィレッジ
伊藤 和孝 様 (功労賞)	蟹江町歴史民俗資料館
長谷川 道明 様 (功労賞)	豊橋市自然史博物館
村松 和明 様 (功労賞)	岡崎市美術館



表彰式風景

左から、佐藤一信会長(愛知県陶磁美術館)、小林弘昌氏(あま市七宝焼アートヴィレッジ 前館長)、村松和明氏(岡崎市美術博物館 前館長・岡崎市美術館 館長)、伊藤和孝氏(蟹江町歴史民俗資料館 前副館長)、長谷川道明氏(豊橋市自然史博物館 学芸専門員)

4. 議事

議長（会長 愛知県陶磁美術館 館長 佐藤一信氏）

議題

(1) 令和3（2021）年度 事業報告および決算報告について

1 事業

(1) 記念講演会の実施

- ・開催日 令和3年6月25日（金）
 - ・会場 名古屋市科学館 生命館地下2階 サイエンスホール
- 理事会・総会とも書面審議に変更のため中止

(2) 職員等研修会（A部門）：企画展などの見学会を実施

- 【担当：鳳来寺山自然科学博物館・博物館明治村・一宮市博物館】
- 第45回東海三県博物館協会研究交流会と合同で実施
- ・日時 令和3年12月14日（火）13時30分～15時00分
 - ・内容 設楽町奥三河郷土館 オンライン見学会
 - ・会場 設楽町奥三河郷土館（Zoom ウェビナー形式によるオンライン見学会）
 - ・講師：設楽町奥三河郷土館 館長 渡邊俊也氏、学芸員 金田直樹氏
- ※現地での司会進行を研修担当館が行った。
- ・参加者：三県合計 45名（うち愛知県 34名） 参加者はオンライン参加

(3) 部門別研修会：調査・研究、教育・普及、保存・修復の3部門の内2部門の研修会を実施

- 【担当（B部門）：名古屋市博物館・トヨタ博物館・愛知県陶磁美術館】
- 職員研修会（A部門）、部門別研修会（C部門）のサポート（予算含む）

- 【担当（C部門）：豊田市郷土資料館・岡崎市美術博物館・豊橋市美術博物館】
- 対面とオンライン（YouTubeLive 配信）併用で開催
- ・日時 令和4年3月5日（土）14時00分～15時30分
 - ・内容「学芸員に知っておいてほしい漆のこと、基本のキ」
 - ・会場 豊橋市美術博物館 講義室
 - ・講師 松本達弥氏（東京藝術大学大学院 文化財保存修復工芸研究室 非常勤講師、
日本 工芸会監事、日本文化財漆協会常任理事、漆芸家）
 - ・参加者：合計40名（会場14名・YouTubeLiveによるオンライン配信視聴者：26名）

(4) 表彰

- 愛知県博物館協会表彰規程に基づき、表彰を行う。
- 式（令和2年度受賞者）は中止、令和3年度該当者0名。

(5) 印刷物の編集・発行

- ・協会報「愛知の博物館」2回 電子媒体発行
- 【担当 秋期：愛知県美術館 春期：徳川美術館】

→通常通り発行。秋期(令和3年10月12日HP掲載)・春期(令和4年3月18日HP掲載)
・「おでかけガイド」2回発行

【担当 秋期：知多市歴史民俗博物館 春期：熱田神宮宝物館】

→通常通り発行。各26,000部。秋期(令和3年11月5日HP掲載)・春期(令和4年4月1日HP掲載)

(6) HP 運営

【担当：あま市美和歴史民俗資料館・昭和美術館・刈谷市歴史博物館】

→Twitter 運用開始(令和3年7月より)・HP 埋め込み(令和3年10月より)

(7) 災害発生時の対応

【担当：会長館(名古屋市科学館)・副会長館(トヨタ博物館)・前会長館(愛知県美術館)・次期
会長館(愛知県陶磁美術館)・次々期会長館(名古屋市博物館)】

→連絡訓練の実施(令和4年1月26日(水)から28日(金)のうちブロックごとに1日)報告
書を令和4年3月20日付で配布(訓練に先立ち事前アンケートも実施)

→候補サービス選定の参考とするための調査について委託し、3サービスの内容等比較
をまとめた。コスト等含め今後実行委員会、災害対策担当で検討する。

(8) 他協会

○令和3年度東海地区博物館連絡協議会及び日本博物館協会東海支部総会

→理事会：令和3年9月30日 オンラインで開催

総会：理事会議決結果を受け、書面表決(令和3年11月10日)

2 会 議

(1) 理事会

日時 令和3年6月25日(金)

会場 名古屋市科学館 学習室 or 多目的室

→書面審議(令和3年6月15日(火)～6月21日(月))に変更のため中止。

(2) 総会

日時 令和3年6月25日(金)

会場 名古屋市科学館 生命館地下2階 サイエンスホール

→書面審議(令和3年6月25日(金)～7月1日(木))に変更のため中止。

(3) 実行委員会 随時(年間8回程度)

第1回 日時 令和3年4月23日(金) 15時～17時

会場 名古屋市科学館 [オンライン併用]

本年度事業計画と役割分担、協会表彰 他

第2回 日時 令和3年5月25日(金) 15時～17時

会場 名古屋市科学館の予定を変更 [書面開催]

本年度理事会・総会の内容及び資料 他

第3回 日時 令和3年8月25日(水) 15時～17時

会場 名古屋市科学館 [オンライン併用]

本年度理事会・総会開催報告、職員研修会、災害対策 他

第4回 日時 令和3年10月1日(金) 15時～16時30分

- 会場 名古屋市科学館 [オンライン併用]
職員研修会、HP ページの運営、災害対策 他
- 第5回 令和3年11月17日(水) 15時～17時
会場 名古屋市科学館 [オンライン併用]
職員研修会、HP ページの運営、災害対策 他
- 第6回 日時 令和4年1月20日(木) 15時～16時
会場 熱田神宮宝物館
職員研修会(東海三県)開催報告、部門別研修会、HP の運営、災害対策 他
- 第7回 日時 令和4年3月10日(木) 14時～16時
会場 名古屋市科学館 [オンライン併用]
※当初徳川美術館で予定していたがオンライン対応で会場変更
各担当年度末確認、引き継ぎ、新役員、協会表彰、今年度支出等

(4) 災害対策分科会 随時

- 第1回 日時 9月10日(金) 15時～17時
会場 名古屋市科学館 [オンライン併用]
令和3年度の訓練について・調査委託について
- 第2回 日時 10月1日(金) 16時40分～17時30分
会場 名古屋市科学館 [オンライン併用]
令和3年度の訓練について・調査委託について
- 第3回 日時 10月14日(木) 15時～17時
会場 名古屋市科学館 [オンラインのみ]
令和3年度の訓練について
- 第4回 日時 令和4年2月27日(日)から3月5日(土)
会場 メールにて意見集約
令和3年度の訓練報告内容について

議題

(2) 令和4(2022)年度 事業計画(案)および予算(案)について

1 事業

(1) 記念講演会の実施

- ・開催日 令和4年6月30日(木)(総会と同日開催)
- ・会場 愛知県陶磁美術館 本館地下1階 講堂
- ・講師 三菱UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社 加藤千晶 氏
- ・テーマ 「東海3県主要集客施設の集客動向について」

(2) 表彰

- 愛知県博物館協会表彰規程に基づき、表彰を行う。
- ・実施日 総会において実施予定

(3) 職員研修会

- 【担当：一宮市三岸節子記念美術館・刈谷市歴史博物館・名古屋市科学館
・新城市設楽原歴史資料館・愛知県美術館】

企画展などの見学会を実施（オンライン併用）

- ・時期 秋頃
- ・会場 未定

(4) 部門別研修会

【担当：岡崎市美術博物館・とこなめ陶の森・豊田市郷土資料館・豊橋市美術博物館】

調査・研究、教育・普及、保存・修復の研修会を実施

- ・時期 未定
- ・会場 未定

(5) 印刷物の編集・発行

- ・協会報「愛知の博物館」2回 電子媒体発行

【担当 秋期：トヨタ博物館 春期：徳川美術館】

- ・「おでかけガイド」2回発行

【担当 秋期：名古屋市博物館 春期：博物館明治村】

(6) HP 運営

【担当：熱田神宮宝物館・愛西市佐織歴史民俗資料室・昭和美術館】

- ・HP サーバ移転及びセキュリティ強化

令和4年8月から、現行サーバである NTT スマートコネクタから
さくらインターネットへサーバを移転し、セキュリティを強化する。
なお、初期費用はかかるが、今後の年間費用を抑えた継続契約を想定。

- ・Twitter 運用

Twitter 告知担当：愛西市教育委員会 生涯学習課 佐藤 gakusyu@city.aisai.lg.jp

(7) 災害発生時の対応

【担当：会長館（愛知県陶磁美術館）・副会長館（トヨタ博物館）

- ・前会長館（名古屋市科学館）・次期会長館（名古屋市博物館）

- ・次々期会長館（愛知県美術館）】

- ・非常連絡訓練（令和3年度実施方法、被災状況の共有（情報公開））

令和4年秋頃に事前連絡、令和5年冬頃に訓練を実施予定

- ・非常時連絡 WEB サービス導入

災害時一斉送信が行える WEB サービスについて、トライアルを実施し、
令和4年10月以降に契約するか検討する。

(8) その他

- ・令和4年度東海地区博物館連絡協議会及び日本博物館協会東海支部総会

開催時期 7月下旬

会場 未定（静岡県）

- ・令和4年度東海三県博物館協会研究交流会

開催時期 秋頃

会場 未定（岐阜県）

2 会 議

- (1) 理 事 会 令和4年6月30日(木) 於：愛知県陶磁美術館 本館地下1階 講堂
※原則、対面開催
- (2) 総 会 令和4年6月30日(木) 於：愛知県陶磁美術館 本館地下1階 講堂
※理事会と同日開催、対面開催(委任状)
- (3) 実行委員会 随時 年間8回程度
※原則、対面開催、オンライン併用
- (4) 災害対策分科会 随時 年間4回程度
※オンライン開催

報告

- (1) 令和4(2022)年度 退会館
杉本美術館が退会した。
- (2) 東海地区博物館連絡協議会・東海三県博物館協会研究交流会
令和4年度は、東海地区博物館連絡協議会は愛知県が会長、東海三県博物館協会研究交流会は岐阜県が当番。
- (3) 令和5(2023)年度 会議等会場

《記念講演会》

総会終了後、記念講演会を実施した。

演題 「東海3県主要集客施設の集客動向について」

講師 加藤 千晶 氏(三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 政策研究事業本部観光戦略室(兼)政策研究事業本部研究開発第2部(名古屋) 事業戦略・マーケティンググループ 研究員)

今回の記念講演会のテーマを検討したのは令和2年度末ごろであり、その頃多くの館でコロナ禍による来館者減少が顕著な問題となっていた。そのため、人が集まらないコロナ禍にあってどのように集客していけば良いか、経済学的な見地も交えた話が聞きたいと思い、令和3年度の記念講演会のテーマ・講師を設定した。令和3年度は総会が書面開催となったこともあり、記念講演会は中止となってしまったが、令和4年度現在においてもコロナ禍における集客状況とその動向



加藤千晶氏

についての情報は重要であるとの認識から今回の開催となった。

講師の加藤千晶氏は、政策研究事業の調査研究部門として、中部・東海地区の観光に関する戦略・ビジョン・計画づくりや観光マーケティング調査などを担当されており、今回の講演について、最新（令和3・2021年度）調査の概要をもとにお話いただいた。内容は、1. 東海3県主要集客施設・集客実態調査（弊社自主調査）について、2. 収益確保に向けた各施設の取組事例、3. 昨今の観光を取り巻く環境・キーワード、4. 今後のプロジェクト動向、5. ご質問受付、と進められた。

1. 東海3県主要集客施設・集客実態調査は、愛知・岐阜・三重の集客施設の現状と一般消費者のレジャー行動の動向等を把握することを目的として実施されたもので、新型コロナ流行前の平成31・2019年度、コロナ禍の令和2・2020年度、令和3・2021年度の集客数の比較データを示された。対19年度比では、72施設中、約9割（65施設）で集客数が減少したものの、約1割（7施設）は新型コロナ前の水準を上回り、対20年度比では、73施設中、約9割（65施設）で集客数が増加という結果が出た。集客数への悪影響要因として、「施設の営業範囲の縮小」、「感染状況」「レジャー自粛の風潮」「団体旅行・外国人旅行者の減少」主なものとして挙げられた。一方、好影響要因としては、「SNSでの情報発信」「制限の緩和」「観光キャンペーン」「アウトドアレジャーへの関心の高まり」が挙げられ、感染症対策を行いながらレジャーを楽しむ行動の浸透が伺えた。

2. 収益確保に向けた各施設の取組事例では、リピーターや新たな客層の取り込みとして各種イベント、文化施設のユニークメニュー・ワーケーションとしての利用などが紹介された。効果的なSNS等の情報発信や単価増加策など各施設の特性にあわせた事例が取り上げられたことは、各加盟館にとって有益であったと感じた。

3. 昨今の観光を取り巻く環境・キーワードでは、「体験型観光コンテンツへの注目の高まり」「自然・アウトドアレジャーへの関心の高まり」「多様な宿泊ニーズの高まり」が挙げられ、また環境に配慮したサステナブルツーリズムをはじめ、持続可能性の重要度が増した現状を取り上げた。屋外型施設である公園施設が特に集客増加傾向にあったこととあわせ、密を避けつつ満足度の高い体験型コンテンツや特別感のあるイベントを打ち出すことの必要性が感じられた。

4. 今後のプロジェクト動向では、愛知県を中心とした東海地区における新たな施設開業、イベント開催、交通インフラ整備について紹介された。今回の講演を通じ、各加盟館にとって昨今の多様なニーズに対してどう取り組むべきか考えさせられ、また予算獲得のために有用なデータとして活用することの必要性が強く感じられた。

（愛知県陶磁美術館 学芸員 田畑 潤）

役員、実行委員の一部が下記のとおり交替した。引き続き、会員各位のご協力のほど、よろしくお願いいたします。

令和4(2022)～令和5(2023)年度 愛知県博物館協会役員

任期は令和4年4月から令和6年3月まで

役職名	館(園)名	代表者名	備考
理事	愛知県陶磁美術館	館長 佐藤 一信	会長
理事	トヨタ博物館	館長 布垣 直昭	副会長
理事	一宮市三岸節子記念美術館	館長 葛谷 栄司	一宮市博物館より交代
理事	熱田神宮宝物館	館長 多賀 顕	
理事	岡崎市美術博物館	特任館長 榊原 悟	
理事	愛西市佐織歴史民俗資料室	生涯学習課 課長 石田 泰弘	あま市美和歴史民俗資料館より交代
理事	昭和美術館	館長 柳澤 幸輝	
理事	刈谷市歴史博物館	館長 田代 英徳	
理事	とこなめ陶の森	館長 吉川 和彦	知多市歴史民俗博物館より交代
理事	豊田市郷土資料館	館長 児玉 文彦	
理事	豊橋市美術博物館	館長 小林 久彦	
理事	名古屋市科学館	館長 瀬瀬 満	令和4年度より交代
理事	博物館明治村	館長 中川 武	
理事	新城市設楽原歴史資料館	館長 湯浅 大司	
理事	愛知県美術館	館長 拝戸 雅彦	
監事	徳川美術館	館長 徳川 義崇	
監事	名古屋市博物館	館長 三芳 研二	令和4年度より交代

令和 4(2022)～令和 5(2023)年度 愛知県博物館協会実行委員

館（園）名	実行委員氏名	備考
愛知県陶磁美術館	田畑 潤	
トヨタ博物館	藤井 麻希	
一宮市三岸節子記念美術館	長岡 昌夫	
熱田神宮宝物館	内田 雅之	
岡崎市美術博物館	山下 葵	
愛西市佐織歴史民俗資料室	富田 美紀子 佐藤 成浩	2022 年度より実行委員交代。
昭和美術館	後藤 さち子	
刈谷市歴史博物館	長澤 慎二	
とこなめ陶の森	小栗 康寛	2022 年度より実行委員交代。
豊田市郷土資料館	倉林 重幸	
豊橋市美術博物館	久住 祐一郎	
名古屋市科学館	堀内 智子	
博物館明治村	長久 智子	2022 年度より実行委員交代。
新城市設楽原歴史資料館	加藤 沙也果 (長篠城址史跡保存館)	2022 年度より実行委員交代。 (理事館は 2020 年度より設楽原歴史資料館)
愛知県美術館	中村 史子	2022 年度より実行委員交代。
徳川美術館	長谷川 円	2022 年度より実行委員交代。
名古屋市博物館	佐野 尚子 (前期) 津田 卓子 (後期)	2022 年度より実行委員交代。

愛知県博物館協会事務局

愛知県陶磁美術館	大槻 倫子	愛知県美術館学芸課長
〃	田畑 潤	同館学芸課主任
〃	鮫島 由佳	同館学芸課技師
〃	小川 咲良	同館学芸課技師
〃	波多野 晶	同館総務課主事
〃	樟木 さやか	同館総務課主事

令和4年度東海地区博物館連絡協議会・日本博物館協会東海支部理事会及び総会のご報告

東海地区博物館連絡協議会・日本博物館協会東海支部の令和4年度理事会及び総会が令和4年7月28日（木）、静岡市民会館において開催された。当日の概要は以下のとおりである。

参加者内訳：日本博物館協会2名、静岡県13館17名、愛知県6館6名、山梨県2館2名、神奈川県10館11名、岐阜県4館4名、事務局（静岡県立美術館）8名 計50名

議題1 令和4年度理事会及び監事の選任について

議題2 令和3年度事業報告及び決算報告について

議題3 令和4年度事業計画及び予算案について

議題4 令和5年度開催県について

議題5 60周年記念事業について

上記議題について全て承認された。令和5年度の開催県は愛知県で承認された。60周年記念事業について、神奈川県が中心となり「60周年記念実行委員会」が設置され、「東海地区5県ミュージアムマップ」の作成が決定した。

総会後は、静岡市歴史博物館の施設見学が行われた。



施設見学風景

表紙館のご紹介

■ 剣の宝庫 草薙館

【開館時間】

午前 9 時から午後 4 時半まで
(最終入館は午後 4 時まで)

※但し宝物館との共通券最終入館は
午後 3 時 30 分となります。

【休館日】

毎月最終水・木曜日の前日の火曜日
年末 12 月 25 日～31 日



外 観

【入館料】

- ・草薙館単館券 大人 500 円 (400 円) 小中生 200 円 (100 円)
- ・宝物館共通券 大人 800 円 (700 円) 小中生 300 円 (200 円)

※但し宝物館において特別展等開催時の共通券拝観料金は変更される場合があります。

【所在地】

〒456-8585 名古屋市熱田区神宮一丁目 1 番 1 号

TEL: (052)-671-0852 (ダイヤルイン)

<https://www.atsutajingu.or.jp/kusanagi/>

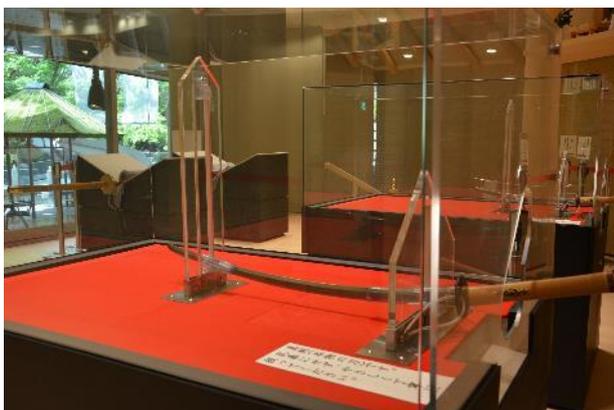
【交通手段】

- ・名鉄名古屋本線「神宮前」駅下車。徒歩 5 分
- ・地下鉄名城線「神宮西」駅下車。2 番出口より徒歩 7 分

【駐車場】 有り



エントランス オブジェ



体験コーナー

「愛知の博物館」 No.115

発行日 令和 4 年 9 月 13 日

編集・発行 愛知県博物館協会

〒489-0965

愛知県瀬戸市南山口町 234 番地

愛知県陶磁美術館内

TEL. 0561-84-7474